

現在小学6年生の息子は小4から5年にかけて1年近くもの間、不登校になり、昨年ある支援機関にお世話になり復学いたしました。

不登校になる以前は、私の心配性から四六時中息子に対して口や手を出して親の価値観を押しつけ子の人権を無視したような間違っただけの子育てをしていました。その結果、息子の自立心は育たず、ささいなことでも親に判断を仰ぎ、嫌なこと、面倒なことから逃げ、そして社会(学校)からも居心地のいい家の中へと逃げ込み、動けなくなってしまったのだと思います。

不登校を機に、私は子どもを早く自立させなくてはと焦りました。親離れ子離れするため、と子どもとの距離を置き、細かいことは一切言わずに子どもを見たいようにしました。結局は、息子自身が考えて行動するために親としてどうすべきかが分からず、ただ沈黙し突き放すような態度をとることしか出来なかったのです。そして、気付くと家の中は会話がなくなり、殺伐とした冷たい空気が流れていました。

復学してから半年以上もの間、順調に休むことなく登校していらしたので「学校に行っていることが第一。大丈夫だろう…」と家庭内の対応に不安を持ちながらも、放任状態を続けていました。

そんな時、学校で仲の良い友達を怪我させてしまうという息子にとっては大きな問題が起きた。

そのことをおわりには息子たちから責められたそう。いろいろ言われるのが嫌だから学校に行きたくないと言ひ、数日休んでしまったのです。

子どもの世界ではよくありそうな問題... 「そのくらいのことではどうして行かなくなってしまうの?」「何の問題が起るレベルにやめて逃げろ?」「どうしてもっと強くなれないの?」と相変わらず心の弱い息子が歯がゆい。息子を受け止めることができませんでした。

私には「子どもを変えるにはまず親が変わる」を心掛けて来たつもりでしたが、そう簡単に人は変わらないものだし、性格の根っこの部分は変わらないのかも... それとも間違った方向に行っているのだろうか... と悩まされた。

今回のことは、母親としての自分を見つめ直すためにも子どもから良い機会を与えてもらったのかもこれはいえ今では思えます。

そして、以前からお世話になっている訪問カウンセラーの〇〇さんに相談して、水野先生をご紹介いただきました。子どもの問題行動予防のための家庭教育を支援にいらしてとお聞きし、今後継続登校していくために必要な大切なことを指導していただければと思います。お願いしたいです。この時、もし水野先生にお会いしていなければ、私は息子に対し

間違った対応を続け、いつの間、とんでもないことになっていくのでは無いと思うと怖く感じます。

会話も少なく冷えかけた親子関係となっていた我が家に、水野先生は「子どもの声に耳を傾け、子の気持ちを受け止め共感する」会話法を教えてくださいました。それは、私が今まで息子のことをどれだけ非難し、親の価値観ばかり押しつけて来たのをあらためて自覚することから始まりました。

「アクティブリスニング」や「アイメッセージ」を勉強し実践していく内、会話が広がったのも、息子の反発や嫌いな言い方も、私の説教が正しい否定的な言葉掛けの原因があることに気付かせてくださいました。

息子の問題や悩みを抱えた時、「どうせお母さんに言っても聞いてもらえないし説教されるだけ」と、自分の苦しい気持ちを伝えたくていくのだと思うと、フランクで誤解ない気持ちでいいです。

身をもって対話の難しさ、影響力、そして言葉はどれだけ力を持っているということを知ることが出来ました。

復学後は「学校に行きさえすればいい、他のことは目をこらさう」という思いから、家の中はルールがあつたようなルーズな状況になっていました。

船取りとなるべき夫はいわゆる「マイホームパパ」「お友達親子」で、父親(叱り手)としての立場が低く、子ども上位に

なっていることも問題でした。お恥づかしい話ですが、これもやはり、仕切りやの私の言葉によって立場を下げてしまったところがありましたので、会話ノートなどで先生に具体的にゴ指導いただきました。

威厳ある父親像を作っていました。普段とは違う雰囲気を出しての「家族会議」は家庭のルールを再確認する上で大変効果的なものとなりました。

今後、もし子どもが問題を起こした時にも活かして行けるよう、「父親は口役、母親は聞き役」に徹し、夫と相談し、確認し合っていきたいと思います。

あるべき「親の姿勢」を伝えてくださったことで家庭内の常識的ルールも守られ、家の中がとても落ち着き穏やかになりました。子どもが毎日学校に行き、家族が笑顔でおしゃべりするひととき...そんなあり前の生活が本当にあり得る毎日が幸せです。

子どもが子どもを幼く扱って干渉してしまう時や、先々心配し考之過ぎて私自身が不安になってしまうこともあります。そういう時は、「子どもは失敗から学んで成長していく」「          は成長したら、子どもを信頼して」と言ってくくださった先生の言葉を思い起こして、力をもらっています。

子どもとの適度な距離感、干渉すべきか、見守るべきかのライン、その時々状況を見ながら柔軟な対応ができれば... 難しく迷うことは時々あり勉強中の身ですが、この先もし問題が起きてもジタバタせずにドーンと構えて、夫とともに受け止め、対応できるよう、少しずつ成長して行ければと思っています。

最後にありがとうございました。いつも優しいお気遣いと温かいご指導をしてくださる水野先生、そして先生をご紹介くださった[REDACTED]さんに心から感謝しております。お母さんとして未熟で時にはつまずくこともあるかと思いますが、今後ともご指導、お付き合いのほど、よろしくお願いいたします。